

2023 年度

ニチキッズ長曽根保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（木）～3 月 30 日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年3月8日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもが安心して過ごせる保育士の関わり、安全に生活できる環境作りを第一に『おもいっきり遊ぶ・おもいっきり学ぶ』の保育理念を基盤に保育してきた。職員が子ども達を大切に思う気持ちや寄り添った関わりをしてきたことが一人一人のよりよい育ちに繋がってきた。
子どもの発達援助	0.1.2 歳それぞれの年齢、月齢、発達に適した運動やリズム遊び・製作活動・食育活動を計画し実践することで子どもの成長、発達を促してきた。保育の反省振り返り評価をし、一人一人の子どもへの最善の関わりを考えてきた。
保護者に対する支援	子どもの遊びや活動、食事、睡眠など健康面に留意した保護者とのコミュニケーションを図り、園の様子は連絡帳・HP・毎月の園だよりで発信してきた。自治体と連携をし子育てひろばの案内をし、園見学、座談会を行い地域の方の交流の場として子育て支援を広めてきた。
保育を支える組織的基盤	外部、内部研修を受け、職員一人一人が自ら理解して行動できるよう実践を行わない保育に取り入れてきた。災害時避難、防犯等の安全保育、個別の発達相談、援助については関連機関の指導、巡回を受け危機管理を深めてきた。

総評
職員が子どもたちのことを第一に考え、一人一人の子どもの発達や特性に配慮し保育を行ってきた。保護者とのコミュニケーションを大切に連絡帳や HP で遊びの様子を随時配信、園行事の開催を通して子どもの育ちを共に喜び合うことができた。食事・睡眠・活動時の危機管理対応はタイムリーに行い、マニュアルの再確認、安全保育の徹底を図ることができた。職員の連携、保育の質の向上の為に、ミーティングをしっかりと行い様々な意見の発信、振り返りを通して、職員の気付く力を養い今後更なるも保育の質の向上を目指していきたい。